

【茨城新聞にて紹介いただきました】

【掲載媒体】茨城新聞（2016年10月28日付け）

【概要】第1回水戸黄門漫遊マラソンに完走記念缶バッジを寄贈いたしました。

【備考】無断転載不可

水戸漫遊マラソンの完走バッジ3500個寄贈
笠間のエネルギー会社
30日に水戸市で開かれる「水戸黄門漫遊マラソン」を盛り上げようと、総合エネルギー会社のサンライフコーポレーション（笠間市）は、2キロと5キロの部門を完走したランナーに贈る記念缶バッジ約3500個を製作し、市に寄贈した。同社の工藤育男社長らが26日、同市中央の市役所臨時庁舎を訪れ、高橋靖市長に目録を手渡した。

缶バッジは直径約4センチ。各部門の距離数と市のマスコット「みとちゃん」をあしらった。市はフルマラソンの部の完走記念品として印籠型メダルをランナーへ

缶バッジを手渡すサンライフコーポレーションの野口利明新規事業開発部長（右）＝水戸市中央

贈る予定だが、2キロと5キロの各部門には完走の記念品がなかった。

高橋市長は「2キロと5キロの部には多くの子どもたちが参加する。頑張った証しとして、完走記念品の提供は非常にありがたい」と感謝。工藤社長は「スポーツを通して地域貢献に力を入れてきた。会社として協力させていただけ」と話した。

